

このコーナーは、曾於市に住む鹿児島県男女共同参画推進員が、曾於市のいろんな方々にインタビューするコーナーです。

一回限りの人生 一步前進しないと 何も始まらない！

末吉町高岡下
中野 三四子^{よこ}さん

中野三四子さんは、26年間勤務した職場を退職後、末吉町南之郷の高岡小学校近くにある自宅の一部を改装し、平成27年3月に「カフェひだまり」をオープンしました。また同7月に開設された「茶飲ん場 ハッピー」もこの自宅です。カフェに来られるお客様の「おいしかった」という声に一番の喜びを感じながら、南之郷の豊かな自然の中にくつろげる場所と明るい笑顔、そして心のもった手料理を提供しています。

お店を開いたきっかけは？

退職して半年位過ぎた頃、次の仕事として好きな料理を生かしたカフェを始めたいと考えました。3人の息子たちには反対されましたが「3年頑張ってみてダメだったら辞めるから、チャンスをちょうだい」と説得し、準備を始めました。志布志保健所へ相談に行き、営業許可をもらうための講習を受け、家の改装に取り掛かりました。床張りやペンキ塗りなど楽しみながら自分でやりました。人生は一回きり、自分が一歩前進しないと何も始まりません。今は、家族や友人などの協力もあり、少しずつ前に進んでいます。



中野さんが張り替えた床やお手製の家具



サワーボメロと紫芋を使った手作りデザート



お店を始めてみて感想は？

店がいろいろな人と出会える場となり、人とのご縁が広がっていくように感じていきます。地域の方はもちろん、以前勤務していた会社の同僚たちが県外から家族連れで来てくれたり、同窓会のように集まってくれたりします。再来者が、仲間を連れて来てくれることもあります。また、茶飲ん場が集まる地域の方々との交流もずいぶん深まってきました。多くの会話が弾む中で教えてもらうことがたくさんあり、人とのご縁のありがたさを感じています。出会ったすべての方に感謝、感謝です。

素敵な笑顔の源は？

お店を始めてから、いろいろな人との出会いがあり、笑って話をする事が多くなりました。今は笑顔の毎日でも幸せです。「笑っていれば、福が来る」と言われています。これからも笑顔で過ごし、健康第一を心がけ、「カフェひだまり」と「茶飲ん場ハッピー」を、できる限り続けていきたいと思っています。

まさに人生の転機に、自分の想いを実現させた中野さん。「人との出会いが私を成長させてくれます」と話すその笑顔は、晴れやかで優しさに包まれていました。

取材：島子正一郎さん・馬場正子さん・牧元宝治さん

